

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

	校名	大阪府立とりかい高等支援学校
	校長名	福井 浩平
開催日時	令和7年6月16日（月）14：30～16：30（6限に授業見学）	
開催場所	大阪府立とりかい高等支援学校 会議室	
出席者（委員）	A 委員、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員、F 委員	
出席者（学校）	校長、教頭、事務長、首席 A、首席 B、指導教諭、 教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、地域支援部長	
傍聴者	1 名	
協議資料	①次第 ②学校運営協議会 実施要項 ③学校運営協議会 委員名簿 ④学校運営協議会 事務局名簿 ⑤令和7年度 学校経営計画および学校評価 ⑥令和7年度 使用教科用図書一覧表 ⑦令和7年度 4/26 土曜参観保護者アンケート ⑧学校いじめ防止基本方針 ⑨令和6年度3年生（10期生）進路状況 ⑩淀川わいわいガヤガヤ祭（摂津市）での製品販売について ⑪鳥飼なすワングランプリ（摂津市）への参加について	

議題等（次第順）
（1）令和7年度 学校経営計画について （2）令和7年度 使用教科書選定について （3）授業参観アンケートについて（4/26 土曜参観） （4）学校いじめ防止基本方針について （5）令和6年度3年生（10期生）進路状況について （6）地域交流について （淀川わいわいガヤガヤ祭、鳥飼なすワングランプリ） （7）大阪・関西万博への校外学習について （8）その他、質疑応答

（１）令和７年度 学校経営計画について

【校長】

校長が作って進めるのではなく、教職員みんなでやっていけるように、昨年度中に、次年度にどんなことをやっていきたいかを各分掌などから集約した計画となっている。それぞれから出してもらった時に、キャッチコピーをつけてもらい、パッと見たら「こんな方向性なんだな」と分かるようにした。また、昨年度の３９項目から１８項目にし、特に今年度はこれをするという重点項目に絞った。これらをPDCAサイクルで回していく。また、各分掌に人材育成の観点から「副部長」を設けた。部長とともに分掌運営を引っ張っていったらもらえたら。

【Ａ 委員】

書類はその時ちゃんと見ても時が経つと忘れてしまうこともあるので、キャッチコピーは素晴らしい。

質問①：項目にある「学び続ける教員」のテーマは？

質問②：働き方改革に「会議のない日の設定」とあるが詳しく教えてほしい。

【校長】

質問１つめについて、今の生徒は素直で、素直な反面、打たれ弱い点がある。生徒の実態や変化に応じた教育のために、学び続ける教員をめざす。例えば、そもそも知的障がいってどんな障がいなのか？、生徒の素直さをどう生かすのか？など。

【教務部長】

質問２つめについて、今年度、新しく設けた項目である。会議が多いと感じ、月１日以上、会議等のない日を設定する目標とした。

【Ｂ 委員】

新規の職場見学先２社以上で実施、とあるが、どういう予定か？

【進路指導主事】

１年生で職場見学を行っている。例年、学校近隣の会社に見学に行かせていただいているが、今年度は、摂津市商工会議との連携の中で、新しく３社に見学に行かせていただいた。随時年間を通して、会社は探している。

【Ｃ 委員】

就ボツで学校から支援のバトンを引き継ぐが、最終的には会社で雇用管理をしていただきたい。職場訪問をせずに済んでいる卒業生もいて、それが順調だからなのか、引き継いでいないからなのか、見極めが必要。何かあれば、どういう時に本人がSOSを出してくるのかなど、支援のポイントを学校と共有していきたい。会社訪問では、本人の様子を伺うというよりも、職場定着支援に重点を置いた会社訪問をしたい。より広く意見交換する場もあればと思う。

【進路指導主事】

例年、アフターフォローで進路指導部からと元担任からそれぞれ卒業生の職場訪問をしているが、就ポツとの在校中からの関わりも試行錯誤している。生徒在住地域の就ポツが複数にまたがる中で、いろんな地域の就ポツに知っていただく機会を作っていければ。

【D 委員】

キャッチコピーでテーマをみんなで共有してすすめていくのは素晴らしい。

【E 委員】

キャッチコピーに見入ってしまうほど分かりやすい。とりかいは知っている人は知っているが、知らない人は知らないなので、より多くの人に知ってほしい。

【F 委員】

去年気になったことだが、1年生の職場見学後、体験実習に行って、その後の職場実習は希望者が随時行く、ということになっていて、保護者が知らないうちに、職場実習を本人が行かないことを希望してそう決まっていた。本人が希望しないことはOKだが、家で話し合いたかった。

とりかえを選んだのは、職場実習に行ける機会が多かったから。本人は何をしたいのかが決まっていなくて、職場実習に何回も行けるのは良い。本人が自分で選択していくことは大事だが、家にも情報がほしかった。

本人に少しずつ自信もついてきたなと感じている。デジタル化が普及しているが、連絡帳の漢字を正しく書けるとかアナログな面も本人には頑張ってもらいたい。

【進路指導主事】

生徒と面談をして、職場実習に行く準備のできた生徒から行っている中で、本人の意思も含まれているのだが、面談前後に家庭にも連絡をしてすすめていきたい。18歳以降も支援いただくのは保護者の方なので今後とも協力をお願いしたい。

（2）令和7年度 使用教科書選定について

【教務主任】

生徒が社会に出てから役立つ内容かどうかで教科書を各教科で毎年選んでいる。教科書の実物は後方に並べてあるので、ご覧いただきたい。（7分程度見ていただく。）

【F 委員】

本人は家に教科書を持って帰って来ないので、見れて良かった。社会に出てから役立つ基本や基礎知識が取り入れてあって良い。

【C 委員】

スマートフォンが発達していて、課金や性的な内容で、就ポツ登録者の対応が難しかったケースがあった。授業でもそういった内容は扱っているのか。

【指導教諭】

ライフデザインの授業で、お金についての内容は扱う。性教育は行っているが、どこに相談したらいいよ、というところまでは扱えていない。

（３）授業参観アンケートについて（４/２６土曜参観）

【教務主任】

昨年度よりも参観者数は増えている。１年生では、８割程度の家庭から参加者数 ５７ 人の来校があった。Google フォームで １８ 件、紙で １２ 件の合計 ３０ 件のアンケートの回答を頂いた。アンケートの項目は、良かったところと、改善すべきところに分けて実施した。概ね良い感想を頂いた。授業だけでなく、生徒の様子や雰囲気も見ていただけて良かった。集約結果は教員で回覧して授業改善につなげたい。

【F 委員】

去年、参観に行った時に、職業共通がグループ別の授業で、本人はどこの教室にいるのか分かりにくかった。

【E 委員】

基本的な授業場所の案内はあると思うが、長いこと関わっている自分でも生徒がどの教室にいるのか分からない時がある。

【C 委員】

先ほどの授業見学（協議会の前に実施）では、授業内容が分かりやすかったし、生徒も楽しそうに授業を受けていた。

【B 委員】

生徒の挨拶が大きくて気持ちいい。社会人になっても生徒それぞれの特性に合った挨拶ができるんだろうなと思う。職場実習でもしっかり挨拶ができている生徒が多いので、引き続き頑張ってもらいたい。

【A 委員】

質問①：アンケート結果を受けての改善案を教員全体で共有しているか？

質問②：保護者への返事はしているのか？

【教務部長】

質問１つめについて、アンケート結果は共有している。次回の参観時はこうしますとも伝えている。

質問２つめについて、保護者へのフィードバックは今後の検討課題とする。

【A 委員】

次、担当者が変わった時に出る課題になるかもしれない。担当者が変わっても、同じ課題が繰り返されないように共有を。

(4) 学校いじめ防止基本方針について

【首席 A】

未然防止に力を入れるため、校内で生徒の表情を見たりして小さな気付きを共有している。昼休みにランチタイム相談室を開き、気軽に相談できる場を設けている。その結果、トラブルがあってもすみやかに対応し、解決していけている。生徒同士のコミュニケーション不足や、ささいな一言、SNSでの文字だけの伝わりにくさといったことがきっかけになっていたりしており、保護者とも連携して対応している。年3回実施する生徒向けの「いじめ等アンケート」は今年度から Google フォームで実施中である。

【B 委員】

いじめの定義にもあるように、受け手がどう感じているかが大事。相談窓口があってもそこに行く一歩を踏み出せない人もいるので、定期的に話を聞いたりして日頃の様子を確認することは大事。

【C 委員】

いじめられているのを認めることは当事者としてはしんどいこと。相談するのが難しかったりするので、日頃から声をかけ合うのは大事。

【D 委員】

人同士のことなので難しい。その場の空気、威圧感など感じることを常に意識するしかない。朝礼で声をかけ合うなど日頃からしておくこと。

【E 委員】

良かれと思ってやっても、相手が嫌だと言ったらいじめになるということは十分周知しておく必要がある。気づいた時の学校の初期対応が大事。迅速な対応や、アンケート用紙の消しゴムで消した跡を見るなど、細かい対応ができていると思う。

【F 委員】

人は誰でも合う合わないがあるので、嫌いは嫌いでもいいと思うけど、他の人が嫌いと言っているのを自分も同調するというのはダメと子どもに言っている。学校で嫌なことは嫌だと伝えたり、先生に間に入ってもらったりしてくるよう家で伝えている。学生の間に人間関係のとり方を学んで身につけてほしい。

【A 委員】

ソーシャルスキルトレーニングとか、見えない部分（相手の気持ちなど）を理解する力をつける必要がある。知的障がいのある生徒にとって、映像があると理解しやすい。アンケート項目に記載されている「ひやかし」「たかられる」などについて、どんな状況のことなのかを生徒は理解できているだろうか？など考えてほしい。

(5) 令和6年度3年生（10期生）進路状況について

【進路指導主事】

本日現在、10期卒業生29名のうち27名が就職しており、就職率は9割を超えている。2年生で

行った職場実習先で良い評価を頂いて、3年生で同じ職場に実習に行って内定につながったケースが多かった学年だった。店長が変わったり、シフト制だったり、生徒が自分で対応しないといけないこともあり、今は進路指導部でアフターフォロー中である。年3回、キャリア相談会を学校で開いており、こちらでもアフターフォローの機会としている。

【A 委員】

生徒にとって今は就職は有利な状況か？

【進路指導主事】

有利で、間口は広がってきている。積極的に雇用したいという声を会社から聞く。ただ、いろんな仕事がある分、何を選ぶのか、どんな働き方をしたいのかなど、生徒にとってたくさんの選択肢がある分、どう絞って選択していくのか、生徒、保護者、会社、学校で相談し、合意形成を図っていきたい。

（6）地域交流について（淀川わいわいガヤガヤ祭、鳥飼なすワングランプリ）

【地域支援部長】

6/1(日)に参加した「淀川わいわいガヤガヤ祭」について、当日は行列ができるほどたくさんのお客様に来ていただいた。学科の商品がよく売れて、とりかいのことも多くの地域の方々に知っていただけた。

【首席 A】

摂津市商工会主催の「鳥飼なすワングランプリ」について、商品としては出荷しづらい、形が良くない鳥飼なすを処分せずに飲食店に提供して、鳥飼なす料理を食べにきてもらうというイベントで、3年計画の3年めである。もしよろしければご賞味ください。

【A 委員】

こういった販売学習に参加した生徒は変わるか？

【地域支援部長】

販売学習では、接客をするために人前に出て、生徒に自信がついていっている。

（7）大阪・関西万博への校外学習について

【首席 B】

6/13(金)に2、3年生の校外学習として、今年度は大阪・関西万博に行ってきた。

2年生は、1日班行動をした。生徒にはミッションが与えられており、スタンプラリーをすることや外国人スタッフに英語でインタビューをすることといったミッションに取り組んだ。生徒は、英語での意思疎通ができて嬉しかったと言っていた。

3年生は、午前中は全員で同じパビリオンに行き、午後は班行動をした。班行動では、事前学習で班で相談して決めたパビリオンに行き、海外の文化や民族衣装、最先端の技術の紹介展示などに触れた。

生徒の感想では、知らなかった国のことを知り、楽しんだ生徒がほとんどで、また行きたいという生徒もいた。

（当日の写真を見ていただいたり、生徒の感想を紹介したりした）

意見、質問ともに特になし。

(8) その他、質疑応答

特になし

次回の会議日程

日時

令和7年11月27日（木） 14：00～16：30

会場

本校校長室および各教室（6限に授業見学を予定）